

実践NOTE

農業の起業は面白い! 高校生バイヤーが 地域を掘り起こす!

静岡県立藤枝北高等学校 教諭 西尾 真一



筆者

農業経営の魅力と
面白さを感じること
が第一歩

この授業で一番大切なことは「農業経営の魅力」と「面白さを感じること」だと考えています。農業

は面白い!やつてみたかったのですが、生産者や地域の良さを知つていただくことで、そのために、座学よりも実践。学校を飛び出し、地域の農家との連携を中心に行なっています。それは、高

校生バイヤーという学習活動です。それを実行するために、農業を行なう第一歩だからです。そのため、座学よ

本校には学校設定科目「農業起業基礎」があります。静岡県農業教育研究会が平成17年に、農業を起業する人材の育成やキャリア教育を目的として創設した科目で、全国的に見ても本校にしかありません。

農業を起業する
**高校生バイヤーが
北高ストアを作る**

生徒は地域の先進農家に取材に訪れ、現場を見

これは簡単なことです。あります。農地や施設が揃っている農家を継ぐことですら難しい時代に、

非農家の方が農業を行うことは困難を極めること、が想像できます。しかし、日本の将来を考えれば、生産者の方々が農業を行なうことは、手を育成することは、私たち農業教員にとって、避けは通れない課題で

ることは、「農業経営の魅力」と「面白さを感じること」ではありません。消費

者に地域の生産物の魅力を高校生の声で伝え、生

産物や生産者地域の良さを知つていただくこと

によって、生産者を応援

するイベントです。

生徒には説明しています。

第1段階は生徒が生

産物の魅力をつかむこと

です。生産方法か、味か、

それとも栄養なのか、自

分が販売する生産物の魅

力についてプレゼンテ

ーションを行ないます。プレ

ゼンテーション後、教員

に取材に訪れ、現場を見

に、時には体験や試食

をさせていただきながら

生産方法や経営理念の話

を聞きります。それだけで

生徒は地域の先進農家

に取材に訪れ、現場を見

に、時には体験や試食

をさせていただきながら

生産方法や経営理念の話

を聞きります。それだけで

